

## 中酪情報 No.565

2016年9月30日発行  
毎号奇数月末発行

発行：一般社団法人 中央酪農会議  
編集・発行人：内橋政敏  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1  
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

### 宛先及びお問合せ先

---

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1  
一般社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部  
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295  
<http://www.dairy.co.jp/>  
(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

### 編 集 後 記

---

相次ぐ台風の上陸や長雨により、レタスやハウレンソウなどの野菜が品薄状態となり、店頭価格は高騰していますが、飼料作物への影響も懸念されています。このような状況の中、飼料穀物の国際需給の先行きが気になるところです。

米国農務省は9月12日、2016/17年度の世界及び主要国の穀物に関する需給見通しを発表しました。これによると、トウモロコシの生産量は、米国で中西部の多くの州で単収が前年度を上回り増加し、ブラジルでも国内価格が比較的高いことから南部で夏トウモロコシの播種面積の増加が見込まれること等から、史上最高(対前年度比7.0%増)となる見込みです。他方、消費量は米国、中国、ブラジル等で増加することから史上最高(同6.1%増)となる見込みです。その結果、世界全体の生産量は消費量を上回り、期末在庫量は前年度より4.9%増加する見込みです。